

国際児童画展（48年継続）



届け世界へ！！私たちの願い

「第49回高崎ユネスコ国際児童画展」が、令和3年10月22日～27日（高崎市民シティギャラリー）にて今年も無事に開催されました。

高崎ユネスコ協会会長賞に選ばれた作品

小学校の部： 京ヶ島小学校6年 新井蓮子



中学校・特別支援学校の部： 豊岡中学校3年 峯岸季市



昨年同様コロナウイルス感染防止のため、入場時の手指の消毒や健康調査表への記入、さらに検温など、種々の感染防止策を取ったうえでの開催でした。



また、コロナ禍での児童・生徒の皆さんや指導する先生方の負担軽減を図るために、出品数を削減するなどの事前の配慮も行いました。その結果、小学校からは509点、中学校からは244点、合計で753点（昨年は633点）が出品されました。

例年にも増してどの作品も素晴らしく、会場内からは「上手だねえ!」「凄いねえ!」などの賞賛の声があちこちから聞こえてきました。家庭学習の時間が長く、学校の授業が十分に受けられない環境下であるのにこれだけの作品を生み出せる児童・生徒の皆さんの力量の高さを改めて認識することができました。

5日間の総入場者数は2,873名でした。また同時に受付で行った寺子屋募金への協力額は30,303円でした。

ミャンマーとバングラディッシュからも参加

今年度も目黒ユネスコ協会会長、宮下晶子様のご厚意により、ミャンマー国連邦共和国から1点、バングラディッシュ人民共和国から9点会場で披露されました。「バンフラディッシュはとても自然豊かな国で、子どもたちは自然の絵をよく描きます。」とメッセージが



添えられていました。



市内二つの大学から頼もしいボランティア



昨年に続き高崎経済大学ボランティアサークル ACT から 6 日間合計 11 名。

加えて今年は、高崎商科大学から 2 名と大変多くの支援がありました。受付周辺での案内誘導、検温、会場内見回り等でご協力いただきました。ACT の皆さんには、例年は青少年キャンプに同行していただいています。両大学の学生ボランティアの皆さんに今後も継続して協力をお願いできたらと強く思いました。